

～地域と考える道路問題～

一般国道 234 号遠浅市街地における 道路交通対策

一般国道 234 号の現状

安平町を南北に縦貫する一般国道 234 号は、沿線の産業、経済、観光等、あらゆる面で極めて重要な機能を有し、地域発展に必要不可欠な道路であり、物流拠点である苦小牧港（国際拠点港湾）と空知・道北地方をつなぐ幹線道路です。

そのため遠浅市街地では、貨物を運搬するトラックやトレーラーなど大型車両の混入率が非常に高く交通事故が多く発生していることや、地域の方々からの安全対策要望も強いことから、平成 22 年度の北海道交通事故対策検討委員会において、「事故危険区間」に指定されています。特に遠浅市街地中心部は、初期の道路整備以降、抜本的な道路改良が行われていないため、他の区間に比べて道路幅が狭い半面、北海道電力株式会社南早来変電所、株式会社北海道畜産公社、株式会社春雪さぶーるなどの大きな企業が集中するため、交通量も多く、これまでに多くの痛ましい交通事故が発生しており、加えて通勤車両が集中する朝・夕の時間帯には交差点付近を中心に混雑がみられます。

遠浅市街地における交通事故発生件数（平成 11 年～平成 24 年）

発生前	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
死傷事故	1	1	3	0	0	1	2	0
死亡事故	1	0	0	0	0	0	0	0

発生前	H19	H20	H21	H22	H23	H24	合計
死傷事故	0	4	0	1	1	1	15
死亡事故	0	0	0	1	0	0	2

（事故発生から 24 時間以内の死亡件数。物損事故は含まない。）